

議会だより

令和2年4月臨時・6月定例・7月臨時会版



新型コロナウイルス感染症対策に 議会関連費 約1,000万円の削減案を 6月定例会において全会一致で可決

表紙：5月20日の市議会全員協議会の決定を受け、5月27日に剣持堅吾議長と赤澤康宏副議長が片岡聡一市長に対して削減案の申入れを行った。

8月定例市議会の予定	日程	内容
	8月31日(月)	開会
	9月4日(金)	一般質問
	9月7日(月)	一般質問
	9月8日(火)	一般質問
	9月9日(水)	一般質問・質疑
	9月10日(木)	委員会
	9月11日(金)	委員会
	9月14日(月)	委員会
	9月24日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集 新型コロナウイルス感染症 議会はこう対応した!! …… 2ページ

主な内容

4月臨時・6月定例・7月臨時市議会 ……	4ページ
一般質問 ……	6ページ
委員会活動報告 ……	13ページ
政務活動費の公表 ……	15ページ
復興に向けて・その軌跡(vol. 7) ……	16ページ

新型コロナウイルス感染症 議会はこう対応した!!



6月定例会の様子 席の間隔を広くとる等の対策を行いました

6月定例会 議会関連予算 約1千万円を削減！対策事業の更なる充実へ

<削減予算の内訳>

- ・政務活動費半額返還 441万円
- ・議会運営委員会と3常任委員会 約400万円
- 行政視察費(同行職員の予算を含む)
- ・姉妹都市(茅野市)交流事業費 30万円
- ・議会フォーラム費等 約129万円

6月定例会 議会の新型コロナウイルス 感染症対策 議会・執行部で実施

<主な対策>

- ・本会議場の議員席や執行部席の間隔確保
- ・議会中の原則マスク着用(発言時含む)
- ・一般質問時間を40分から30分に短縮
- ・執行部の出席者数を必要最低限に
- ・本会議や委員会の開催時にドアの常時開放



全員協議会で対策について話し合う



ドアを常時開放して議会を行う

～昨年12月に中国の武漢市を発端に相次ぎ発生～

総社市議会の主な動き

- 2月26日～3月19日
定例会を開催
・新型コロナウイルス感染症対策について緊急質問を行う
・新型インフルエンザ等対策条例を可決
- 4月28日
臨時市議会を開催
・特別定額給付金を迅速に支給するため補正予算を可決
・水道料金4箇月分無料化議案を可決
- 5月27日
・議会関連予算約1千万円を削減し、新型コロナウイルス感染症の対策費用に充てるよう市長に申入れ
- 6月8日～29日
6月定例会開催
新型コロナウイルス感染症対策のため席の間隔を広くとる
- 7月3日
臨時市議会を開催

総社市(執行部)の主な動き

- 2月5日
備蓄マスクを全戸に配布開始
- 2月21日
2020そうじゃ吉備路マラソンの中止を決定
- 3月2日
小中学校、幼稚園等の休校開始
- 3月5日
・新型コロナウイルス感染症対策室の設置
・24時間対応コールセンター開設
- 3月16日
デニムマスク販売開始
- 5月2日
お持ち帰りでDEお得券の販売開始
- 5月25日
小中学校の休校の解除
- 6月1日
幼稚園等の休園の解除

国内・世界の主な動き

- 1月28日
奈良県在住の60代男性日本人初の感染確認
- 1月30日
WHOが国際的な緊急事態を宣言
- 2月27日
国内全ての小中学校・高校に臨時休校を要請
- 3月24日
東京オリンピック・パラリンピックの延期決定
- 4月16日
緊急事態宣言が全国に拡大
- 5月14日
39県の緊急事態宣言の解除
- 5月21日
2府1県の緊急事態宣言の解除
- 5月25日
1都1道3県の緊急事態宣言の解除

4月臨時市議会 市民一人10万円や水道料金4箇月無料などを実施
6月定例市議会 議会関連費を削減し新型コロナウイルス対策費を捻出
7月臨時市議会 そうじゃプレミアム付商品券事業(仮称)予算案等を可決
 〈新型コロナウイルス感染症対策〉

4月臨時市議会

4月28日の1日限りの会期で開催しました。

令和2年度一般会計補正予算(第2号)

主なものは、市民一人に10万円(特別定額給付金)を支給するための69億5千万円と新型コロナウイルス対策として、4月から7月の水道料金を無料化する費用として3億7500万円です。また、市内飲食業者を応援するための「お持ち帰りDEお得意」の予算は6千万円です。

6月定例市議会

6月8日から29日までの22日間の会期で開催しました。

お持ち帰りDEお得意の追加を承認

令和2年度一般会計補正予算(専決処分)6千万円を承認

認めました。

低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金事業を可決

令和2年度一般会計補正予算7340万円を可決しました。新型コロナウイルスの影響を受けているひとり親世帯を支援するために臨時特別給付金を早期に支給するためです。

議会関連費約1千万円を減額

新型コロナウイルスの影響で議会活動も制限される中、議会関連費を減額することにより新型コロナウイルス対策費を議会からも捻出するものです。

通学路への防犯カメラ設置事業予算を可決

事業費は495万円、岡山県から150万円の補助金があります。この事業は3年間の予定です。

GIGAスクール事業の経費を可決

小中学校の児童生徒に1人一台のパソコンを整備する事業の費用として2億8793万円。新型コロナウイルスの影響により臨時休業等の時にもICTを活用した学びの保障を行うため前倒しするものです。

学校給食の納入事業者に対する損失を補填するための負担金を可決

新型コロナウイルス対策として、学校の臨時休業に伴い、給食を停止したことによる事業者への補填(455万円)を可決しました。

農業委員会の委員の任命に同意

秋山陽太郎氏(門田)、阿部英志氏(西郡)、犬飼正己氏(赤浜)、仮谷昌典氏(福谷)、河田直樹氏(三輪)、國府直幸氏(金井戸)、小西忍氏(山田)、小原弘氏(清音柿木)、定井正雄氏(原)、中田省吾氏(横谷)、能登谷和正氏(下原)、林眞理氏(西阿曾)、

令和2年4月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
報告第3号	予算の繰越しについて(令和元年度総社市水道事業会計予算)	報告を受けた
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度総社市一般会計補正予算(第8号))	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号))	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例等の一部改正)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部改正)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(総社市国民健康保険税条例の一部改正)	承認
議案第32号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第33号	令和2年度総社市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第34号	令和2年度総社市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決

令和2年6月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
議案第35号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案乙第2号	総社市議会議員の政務活動費の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案乙第3号	新型コロナウイルス感染症対策における基礎自治体への財政支援の拡充等を求める意見書について	原案可決
報告第4号	繰越明許費について(令和元年度総社市一般会計予算)	報告を受けた
報告第5号	事故繰越しについて(総社市一般会計)	報告を受けた
報告第6号	繰越明許費について(令和元年度総社市公共下水道事業費特別会計予算)	報告を受けた
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例の一部改正)	承認
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部改正)	承認
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度総社市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第36号	岡山県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合を組織する地方公共団体数の減少並びに組合規約の変更について	原案可決
議案第37号	総社市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例及び総社市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第38号	総社市まちづくり基金条例の廃止について	原案可決
議案第39号	財産の取得について(はしご付消防自動車の購入)	原案可決
議案第40号	総社市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	総社市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	総社市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	総社市農業委員会の委員候補者選考委員会設置条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	工事請負契約の締結について(高松田中西阿曾線外改良工事)	原案可決
議案第45号	総社市昭和地区復興住宅条例の制定について	原案可決
議案第46号	総社市給水条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第47号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第48号	令和2年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第49号	令和2年度総社市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第50号	工事委託契約の締結について(総社市立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業)	原案可決
同意第9号~23号	農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて	すべて同意

令和2年7月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
議案第51号	総社市社会貢献表彰総社花萬基金条例の制定について	原案可決
議案第52号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第6号)	原案可決

令和2年6月定例・7月臨時総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	山田	溝手	三上	菅野	三宅	岡崎	深見	小川	高谷	小西	難波	小西	津神	村木	頓宮	赤澤	名木	加藤	根馬	山口	議決	
		田	手	上	野	宅	崎	見	川	谷	西	波	西	神	木	宮	澤	木	藤	馬	口	決	
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度総社市一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第52号	令和2年度総社市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(凡例)○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
 ・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・ 剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[令和2年4月~令和2年6月分] (単位：円)

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
お供え	4/23	10,000	元総社市議会議員香典
	5/7	20,000	元総社市議会議員生花
	5/28	10,000	美作市議会副議長香典
4月からの累計		40,000	

若林勤氏(清音三因)、渡邊則文氏(新本)、渡邊豊氏(久代)の任命に同意しました。

7月臨時市議会
 7月3日の1日限りの会期で開催しました。

令和2年度一般会計補正予算(第6号)
 主なものは、プレミアム付商品券事業・中小企業支援事業・新分野チャレンジ応援補助金に12億4050万円です。



溝手 宣良

問 新型コロナウイルスで脅かされる命と交通事故で脅かされる命に差はないはず。交通安全対策も早く進めてほしいと思うがどうか。

市長 地域力予算の4分の1に当たる2500万円を通学路整備に充てているが、執行率が30%台だ。議員が言われることも一理あると思っている。

教育長 地域力予算の最終年だ。各学校園と連携し、危険箇所をしっかりと見極めて早急に対応していきたい。

問 加害者になることも多い自転車だが、中学からは自転車通学の生徒も多い。その中でどれくらいの子が損害賠償責任保険に加入しているのか。

市長 全体の加入状況は把握

問 交通安全対策をコロナ対策のように早く進めてほしい

答 議員が言われることも一理あると思っている

できていないが、約7割の生徒が損害賠償保険が自動付帯しているTSマークの付いた自転車を購入している。
教育長 保険加入が100%になるように各学校に勧めていきたい。

休校中の状況について

問 自粛期間中にゲーム等による問題はなかったか。ウェブ授業の評価はどうか。

教育長 通信料の大幅増等10件発生した。平均利用時間は増加したようだが、ウェブ授業の内容は好評のようだ。

問 今後の方針はどうか。

市長 コロナ対策をする上で教育を受ける権利が損なわれないためにも、在宅で双方向授業ができるようオンライン化を早急に進めていく。



総社市は全国最速スピードで特別定額給付金の支給を実施した



山田 雅徳

問 特別定額給付金の支給では、本市は他の自治体に比べ全国最速スピードでの給付であった。申請案内の発送や、給付手続きの進捗について所見はどうか。

市長 4月の臨時議会での議決を受け、他市より先行して申請書の発送ができた結果、市民への給付が迅速に行えた。

問 迅速な給付を実施するため「地域通貨」を導入しては

答 市内での経済循環をつくるため地域通貨を検討したい

また、職員が連休を返上し、取り組んでくれた。

問 市民への迅速な支援の実施、対応する職員の負担軽減のために、人海戦術だけでなく総社市独自の仕組みを考えてはどうか。例えば、地域経済対策として「デジタル地域通貨」の導入は、他の自治体でも成果を挙げていると聞く。

市長 飲食店支援に導入した「お持ち帰りDEお待券」が、地域経済の活性化に貢献している。さらに市内での経済循環をつくるために地域通貨の導入を具体的に検討したい。市民への情報発信について

問 総社市ホームページのトップ画面を「コロナ対策緊急対応版」にはできないか。

市長 早急に対応したい。



難波 正吾

災害対策について

問 長良地区への水害対策、排水ポンプ設置の進捗はどうか。

市長 当初、令和5年度の採択予定で話を進めていたが、農林水産省から県を通じて、令和4年度の採択と話をいただいた。令和4年度の採択で着工していくと約束できる。



平成30年7月豪雨で冠水した長良地区

問 長良地区の排水ポンプ設置の進捗はどうか

答 令和4年度の採択で着工できる

経済対策について

問 国の特別定額給付金10万円の振込完了92%は早いですが、その手順と方策はどうか。未申請者への対応はどうか。

市長 全国最速スピードを目指した。総社流の「申請書」を作成、職員には休日返上で頑張ってもらった。

総務部長 6月2日に懸垂幕を掲げた。未申請者の多くは高齢者・障がい者の方だと思う。民生委員・社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して進めていく。さらに申請書を再発送していきたいと思っている。



市役所の懸垂幕

問 コロナで影響の観光・自動車産業などを支援すべきだ

答 従業員20人以下の事業所への財政支援を検討中だ

アンケート結果から、飲食店のほか美容関係、建設、製造業や宿泊・交通事業者・旅行代理店など影響が見られる。

幼小中学校でのコロナ対策・対応について

問 教室での暑さ対策とコロナ対応はどうしているか。

教育長 全ての普通教室にエアコンが設置してあるが、授業中のエアコン使用と同時に2箇所(対方向)の窓を開け換気し、休憩中は全ての窓を開け換気している。

問 登下校中の児童の暑さ対策をどう考えているか。

教育長 登下校中はマスクを外しても良いこととし、日傘や冷却タオルの使用など、安全確認の上でできる暑さ対策はやっていきたい。



菅野 哲也

問 コロナ禍でのイベント開催はどう考えるか

答 一定のルールが必要だ

市長 専門者会議で「新型コロナ総社再開プラン」を創り、イベントの可否や学校運営、市民生活などの総社市流の指針を示していく。

問 学校の運動会や文化祭・修学旅行等どうしていくのか。

教育長 実施していく方向で方法など検討中だ。

問 平成26年の監査委員から秘書室をはじめとした職員の勤務状況を指摘され、改善されていないがどうなのか。

市長 勤務量を減らしていきたいと思っている。

問 早朝6時から市長の政務活動を秘書にさせている。人使いが荒くないか。公務と政務をどう認識しているのか。

市長 気を付けなければならぬ。



津神 謙太郎

問 コロナ対応により避難所の人数制限を考えているのか

答 各施設及びテント村等の設置で人数制限をしない

問 災害時の避難所運営において、コロナ対応等により人数制限等を考えているのか。

市長 我々は、水害・地震も考えていかなければならない。

問 コロナ感染症の3密を避けるため、いくつかの方法を考えたといけない。2年前の災害の経験をもとに、避難者8600人を想定し、各小中高及びきびアリーナ・県立大学、公民館等で、1人当たり床面積8㎡の計算で8163人が避難できる。加えてテント村の設営や各町内会の公会堂等利用を考えているため、人数制限は考えているか。

保健福祉部長 関係部署、各町内会と連携し対応を考えている。

問 弱者対応はどうか。

教育長 総社を愛す子ども・心やさしい子ども・礼儀正しい子どもを育成を目指し、心の教育を進めていきたい。

問 教育行政に必要なものはないか。

教育長 市長部局と社会福祉協議会と連携し、市が一体となって教育することが必要だ。



村木 理英

問 軽自動車税還付の考えはないか

答 新型コロナウイルス支援策の一つとして考える

問 新型コロナウイルス感染症支援策として税の還付の考えはないか。

市長 税の還付は手続き上、難しいところがある。

問 軽自動車税は市税である。また、軽自動車は総社市の世帯数とほぼ同数に近い登録がされている。さらに、三菱水島工場では軽自動車を生産している。以上3つの理由から、軽自動車税還付の考えはないか。

市長 すぐにできることではないが景気対策のひとつとして考えていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策で中止決定

世帯数 28,445 世帯 (令和2年5月末日現在)

軽自動車登録台数 27,018 台 (平成29年4月1日現在)

総社市民の多くは軽自動車を使用している



総社市民の多くは軽自動車を使用している



頓宮 美津子

問 子宮頸がんワクチンの無料接種の個別通知は必要ではないか

答 高校1年生への個別通知を新たに組み込む

問 定期接種で、無料で接種できる子宮頸がんワクチンの対象児童(小6から高1までの女子)に個別に通知を出して、ヒトパピローマウイルスから若い命を守る必要があるのではないか。健康カレンダーにも明記されたが、まだまだ接種率が低い。昨年末、全国小児科医会から首長あてに接種通知のお願いも届いている。まだまだ保護者にはワクチンの内容が詳しく知られていないのが現実。市内の小児科医の先生方も通知の必要性を望まれ、その上で、家族で話し合い接種の判断をしてもらいたい。せめて、今年の9月30日までに第1回目の接種を打つ必要がある高校1年生に個別通知をお願いしたい。

市長 ワクチンの意義や有効性、接種後の起こりうる症状など判断材料を分かりやすく提示し、県の資料なども併せて、個別通知をする新たな取組を実施することにした。

問 経済・雇用対策はどうか。

市長 現在、水道料金を無料としている。また、20人以下の零細会社で20%以上の減収会社にお金の直接給付を考えている。また、土木・建設・備品で発注できるものは早めに発注していきたい。

問 教育行政について

教育行政 教育長が目指す教育は何か。

教育長 総社を愛す子ども・心やさしい子ども・礼儀正しい子どもを育成を目指し、心の教育を進めていきたい。

問 教育行政に必要なものはないか。

教育長 市長部局と社会福祉協議会と連携し、市が一体となって教育することが必要だ。



（令和2年度では、平成16年4月2日から平成21年4月1日生まれの人を対象。全3回の接種完了までに約6箇月かかる。）



高谷 幸男

問 後期基本計画(令和3年度から)の目標人口はどうか

答 過去の人口の推移から考えて7万500人としたい

問 新教育長就任にあたっての抱負と取組はどうか。

教育長 教育大綱の心の教育を推進し、学力、体力を付けるようリードしていきたい。

問 幼小中保の運営はどうか。

教育長 新学習指導要領を進めるため、教育方法を改善し、教員の人材育成をしたい。

問 部活動の熱中症対策はどうか。特に、水分補給とともに緊急時の対応はどうか。

教育長 備蓄品もウォータークーラーも十分ではないが、対応可能と考え、緊急時には役割分担により対応する。

問 「早寝早起き朝ごはん」運動の感想はどうか。

教育長 全国平均よりは全体的にいい数値であり、今後も続けていきたい。

教育について

問 現在の第2次総合計画(令和7年度目標)の目標人口は、6万9千人だが、今年6月中には6万9400人となり、嬉しい誤算である。来年度からの後期基本計画(令和7年度目標)の人口の見通しはどうか。

市長 近年5年間の平均は300人増加で、今後は年間200人余が妥当と考える。

問 新型コロナウイルスにより人口の伸びが鈍化しているが、7万人を迎えた節目に市民と共に記念事業を行う必要があると思うがどうか。

市長 7万人を迎える日は定かでないが、大きな節目として、市民参加による記念事業を積極的に考えたい。



好評の「お持ち帰りDEお得券」



名木田 正昭

答 大きな効果があつたと考えている

問 新型コロナウイルス感染症経済対策の効果はどうか

教育長 教育大綱で掲げている、総社を愛し、心優しく、礼儀正しい子どもの育成に全力を尽くす。また、各校園が連携し、夢と希望を持って学習に取り組む子ども、未来を切り開く強さ、人を思いやる優しい気持ちを持った子どもたちを育てていきたい。

問 教育の目的はどう考えているのか。

教育長 一人一人に、社会に貢献する力と幸せな人生を送る力を身に付けることと考えている。

問 森林環境税について

市長 森林環境税はどのように対応していく考えなのか。

市長 ある意味では本市の大きな資産となるので有効に活用していきたい。

問 どのような考えで教育行政に取り組むのか。

問 水道料金4箇月無料化の市民、事業所の反応はどうか。
市長 事業所はもとより、市民からも好評との声があった。
教育行政について



小西 義巳

問 本市おける、濃厚接触者及びPCR検査を受診した方は何名いるのか。

市長 プライバシーを守る立場から、公表されていない。岡山県では感染者は24名、濃厚接触者でPCR検査を受診された方は、6月14日現在1745名である。

問 非常事態宣言発令後の一番の被害者は小中学生とその家族と思うが小学6年生は最後の運動会そして思い出の修学旅行も中止になっていないか。何か代わりは検討できないか。

市長 生徒の命を大切に教職員からのクラスターを出さないための処置であった。修学旅行については総合教育会議を開催した上で検討したい。

問 学校休校後の教育の在り方について

答 夏休みを短縮して教育の遅れを取り戻したい

問 学校給食調理場跡地の利用について、西の跡地について公園にしてはどうか。

市長 撤去工事終了後、公園としての利用を検討したい。



更地となった西調理場の跡地

問 県の交付金7200万円は妥当と考えているか

答 事業所数と財政力を勘案しているため受け入れた

問 県の交付金7200万円は妥当と考えているか
答 なので、地域通貨とか、お買い物券のようなもので地元にお金を回せるようなものが大切になると思っている。

問 災害時における避難行動、避難先の見直し対策について

問 コロナ感染拡大で災害時における避難先、避難行動の見直しと対策が必要である。その中で自主防災組織の活動が重要だが、市内ではどのくらいの組織ができ上がっているのか。

政策監 現在219箇所で自主防災組織ができています。17地区のうち「神在、山田、新本」では組織が完全にでき上がっている。他の地域も早く組織ができ上がり災害に備えていけるよう早急に取り組んでいく。



小西 利一

経済対策について

問 「お持ち帰りDEお得券」の販売方法、周知方法に問題はなかったのか。

市長 飲食店の支援をする目的でスピード感を持って取り組んできたが販売方法、周知方法にも反省点、見直すべきところがあった。

問 在勤の人にも販売を決めたのは、いつの時点か。

産業部長心得 市民への販売が落ち着いた頃である。

問 当初の販売方法を変更するのであれば、議員各位の了承を得るべきではなかったのか。

市長 議員各位に報告が遅れた点は申し訳なく思っている。
問 新たな経済対策はどうか。
市長 経済を回すことが重要



根馬 和子

問 新型コロナウイルス感染対策の取組はどうか

答 市民をしっかりと守っていく

農業振興について

問 市における農業の生産者はどのくらいいるのか。

市長 1562経営体だ。

問 稲作の割合はどうか。

市長 1383経営体だ。

問 猪等の防護柵の補助は、市内に住所を有する者、かつ3戸以上での共同施工に限るとなっているが、実態に沿わず住民は困っている。さらに、申請は電気柵・ネット柵は8年ごと、トタン柵・ワイヤー柵は14年ごとだ。他市では3年ごとで、個人での申請も受け付けている。ただし予算がなくなれば、停止されている。本市ではどうか。

市長 これは今後検討していく事案とする。

問 国の経済政策の狭間にある事業者を支援してはどうか

答 狭間にある事業者をしっかりと支援する政策を提案する

教育行政について

問 今年は夏休みを短縮して授業を行うことを余儀なくされているが、熱中症対策はどのように考えているのか。

教育長 対応指針に基づき健康第一に対応したい。

問 学校ごとの対応の差異がないようにできるか。

教育長 学校任せにせず、対策指針を徹底していく。

問 特に小学生の徒歩での下校により熱中症にかかる恐れがあると思うが、家庭の責任において熱中症対策グッズの制限は設けないことはできるか。

教育長 基本的に制限はしないと考えている。地域特性は考慮したい。



岡崎 亨一

問 新型コロナウイルス感染対策の取組はどうか

答 市民をしっかりと守っていく

農業振興について

問 市における農業の生産者はどのくらいいるのか。

市長 1562経営体だ。

問 稲作の割合はどうか。

市長 1383経営体だ。

問 猪等の防護柵の補助は、市内に住所を有する者、かつ3戸以上での共同施工に限るとなっているが、実態に沿わず住民は困っている。さらに、申請は電気柵・ネット柵は8年ごと、トタン柵・ワイヤー柵は14年ごとだ。他市では3年ごとで、個人での申請も受け付けている。ただし予算がなくなれば、停止されている。本市ではどうか。

市長 これは今後検討していく事案とする。

問 感染症予防対策のための資材購入について、地方創生臨時交付金を活用してのマスク・消毒液・ダンボールベッド等を購入してはどうか。

市長 地方創生交付金はしっかりと活用する。

問 避難体制について、国の通知による分散避難の体制構築や備品の拡充はどうか。

市長 分散避難を周知して、コロナ感染者とそうでない方を

を各々のサロンや交通安全教室などの会場のテレビ等につなげ、リモコンで操作する。運転技能と合わせて脳トレーニング機能をセットで活用していきたい。また、判定結果による運転免許証返納を考慮する方の相談にも対応していきたい。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案7件であり、全て原案どおり可決しました。

問 条例改正の理由はどうか。

答 新型コロナウイルス感染症対策のための改正であり、労働者が感染した場合に休みやすい環境を整備するため、感染拡大防止の観点から保険者が傷病手当金の支給を行うものである。傷病手当金は国

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案8件であり、全て原案どおり可決しました。

問 第10条の軽減対象者は、どういう人か。

答 第10条の対象は二つあり、一つは、令和2年2月から10月までの任意の3箇月間の売上が前年の同時期と比べて30%以上減少している中小企業者等であり、もう一つは、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、新たに設備投資を行う中小企業者等である。

問 減収になって市への税金が入ってこなくなると、様々な支援策に対する財源的な裏付けはどうか。

答 今回の改正は軽減、特例期間の延長等で、減収となる

令和2年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第47号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・ 個人番号カード交付事業

・ 費補助金の増額、交通安全対策経費の増額

問 住基ネットワーク事業の大幅な増額の理由は何か。

答 毎年度、国から個人番号カードの交付金上限見込額が示されるが、国の全体スケジュールで今年度は全国で約3600万枚のカード発行を想定しており、国の予算額を各自自治体の人口按分により示された金額である。

問 運転技術向上トレーニングアプリは、どのように利用するのか。

答 ゲーム機本体にケーブル

令和2年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第47号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・ GIGAスクール

・ 購入費の増額

問 パソコンはどのようなかのか。OSなどは自治体で自由に選べるのか。県内の公平性が保たれるのか。

答 パソコンは自治体で自由に選べる。OSについては、県内で15市中10市がクロームであり、県内の高等学校の多くがクロームを採用する予定であることや安全面等を考えると、クロームが良いと考えている。

問 約6千台のノートパソコンは一度に購入できるのか。一度に納入できない場合はどう考えているのか。また、ノートパソコンが壊れた時はどう対応するのか。

答 今の市場状況から考える

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案8件であり、全て原案どおり可決しました。

ものについては国からの特別交付金で全て補填される。徴収の猶予については、一時的に現金が入ってこないが一年後には入るため、地方債の発行が許されている。

を各々のサロンや交通安全教室などの会場のテレビ等につなげ、リモコンで操作する。運転技能と合わせて脳トレーニング機能をセットで活用していきたい。また、判定結果による運転免許証返納を考慮する方の相談にも対応していきたい。

が緊急的・特例的な措置として財政支援を行うものである。

と、一度での購入はハードルが高いと考えている。段階的に導入していきたい。まず、中学3年生を優先し、中学校からの導入を考えている。その後、小学校に導入し、6年生から順次導入することを考えている。詳細は機器の確保ができた段階で考えたい。故障時の対応については、機器の3年保証について研究しており、予備機の確保等を行い、学びを止めない視点から考えていきたい。

問 オンライン授業の導入にあたって、保護者の理解が必要と考えるがどうか。どのように理解を得ていくのか。

答 オンライン授業の研究者など、さまざまな立場からも指摘がある。オンライン授業の導入にあたってアンケートを実施したが、常時家庭でICTの支援ができる、との回答は3割程度であった。家庭の協力が必要な中で、どの程度のオンライン授業ができる

産業建設委員会

当委員会では審査した案件は、6月定例会では議案22件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

● 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度総社市一般会計補正予算(第3号)(承認第8号)(所管部分))

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上げが落ち込んでいる市内飲食店を応援するため、総社市お持ち帰りDEお得意券事業

に係る経費を増額するもの

問 「お持ち帰りDEお得意券」を追加販売した主な目的はどうか。

答 券を買うことのできなかった市民の方から追加販売を求める声が多かったこと、また新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、売上げの落ち込みが激しい飲食店を応援するという2つの目的で販売を行った。

● 令和2年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第47号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・ 斎場及び最終処分場における修繕料の増額、住宅使用料の徴収業務委託の委託料の増額

問 斎場は全体的に修繕する計画はないか。

答 今回は、炉のゆがみによる修繕を予定している。今後、炉の長寿命化を図りながら運用していきたい。

問 市営住宅滞納金徴収委託

料について、徴収実績が当初の想定以上だったとのことだが、どの程度の実績か。

答 当初、徴収率を10%から15%程度と見込んでいたが、4月から委託して、すでに30%を超えている。今後も、徴収額の増額が見込まれるため、委託料を大幅に増額しようとするものである。



産業建設委員会は斎場の視察を行い、現状を確認した。(4月22日)

令和元年度政務活動費収支報告書公表

政務活動費は、市政の課題及び市民の意思を把握・反映させるための活動など、議員の調査研究活動に必要な経費として、総社市議会では一人あたり月額3万5千円が議員個人に交付されます。毎年、全ての金額の領収書を添えて収支報告を行い、残金は返還することが義務付けられています。

なお、領収書や研修・先進地視察報告書等の閲覧は、平日(午前8時30分～午後5時15分)に議会事務局にて行っています。閲覧を希望される方は、どうぞお気軽にお越しください。

(問い合わせ) 議会事務局
☎ 83332

令和元年度政務活動費収支報告書集計表

(単位:円)

議席番号	議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
1	山田 雅徳	420,000		165,560	14,650				21,867	1,720		210,350	414,147
2	溝手 宣良	420,000	38,080	304,984					8,192	43,198		35,423	429,877
3	三上 周治	420,000	37,480	296,000					70,990	30,600			435,070
4	仲達 幸弘	420,000		69,280	47,156					14,050			130,486
5	萱野 哲也	420,000			221,100	71,584				15,091	120,000		427,775
6	三宅 啓介	420,000		168,568					2,441	59,532			230,541
7	岡崎 亨一	420,000		295,530		2,772			310	1,400			300,012
8	深見 昌宏	420,000	110,611	442,130						53,571			606,312
9	小川 進一	420,000	55,696	210,674					18,608				284,978
10	高谷 幸男	420,000		307,380	27,512				13,500	55,423			403,815
11	小西 義巳	420,000	62,860	450,150						50,786			563,796
12	難波 正吾	420,000		122,000	27,624				10,009	55,260	150,000	60,000	424,893
13	小西 利一	420,000		158,300						42,183			200,483
14	津神謙太郎	420,000		50,420						13,047		17,925	81,392
15	村木 理英	420,000	43,270	367,300						167,986			578,556
16	頓宮美津子	420,000	10,440	354,040					27,319	12,800			404,599
17	赤澤 康宏	420,000	83,889	317,580					2,041	22,485			425,995
18	名木田正昭	420,000	136,037	317,580						35,532			489,149
19	加藤 保博	420,000	54,478						4,415	52,740		36,000	147,633
20	根馬 和子	420,000		317,580		81,325			10,000	50,398			459,303
21	山口 久子	420,000	106,633	50,420					4,911	42,885			204,849
22	剣持 堅吾	420,000	99,001	317,580					17,488	85,401			519,470
	計	9,240,000	838,475	5,083,056	338,042	155,681	0	0	212,091	906,088	270,000	359,698	8,163,131

※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。
※4番仲達幸弘氏は令和元年10月11日に議員を辞職しています。

復興に向けて・その軌跡 (vol.7)

復興へ新たな試練 新型コロナウイルス

平成30年7月豪雨から丸2年が経過しました。そんな中、甚大な被害を受けた昭和地区で復興住宅整備工事の安全祈願祭が執り行われました。この復興住宅は、平成30年7月豪雨で被災した皆さんのための復興住宅です。一方で西仮設住宅の皆さんは住宅確保の目途がつかないため順次仮設住宅から引っ越しをしています。しかし、7月1日現在まだ、60世帯・118人の皆さんが仮設住宅などで生活をしています。困難ともいべき新型コロナウイルス拡大の影響で、様々な分野で人々が苦境に立たされています。日本のどこかで毎日のように報道される地震速報を聞くと、いつ南海トラフ地震が起きてもおかしくない状況で、同時に二重三重の災害が起きない保証はありません。

これからは、新型コロナウイルス感染症を注視しながら、新しい生活様式で生活をしていかなければなりません。広聴広報委員会は、仮設住宅などで生活をしている皆さんが元の生活に戻るまで見守り続けていきたいと思っています。

(三上周治)



住民が戻ってきた下原地区



堤防工事の進む日羽地区



かさ上げ工事が進む福谷地区

編集後記

新型コロナウイルス感染症対応下の6月定例市議会が閉会しました。今回の議会も多くの議員が新型コロナウイルス対策について質問に立ちました。感染症等も一つの災害と捉え、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら一体となって取り組み、一人の感染者も出さない精神で、力を合わせて立ち向かっていきたいものです。アフターコロナを考える上で、50年後の未来を見据え、生活から仕事・学校に至るまで全てにおいてデジタル化の必要性が見えてきました。今後新庁舎建設に向けても、伝統文化を守りながら新たな様式の導入を考えざるを得なくなりそうです。今年も大雨等に十分お気をつけて夏をお過ごしください。(頓宮美津子)

◆ 広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 赤澤 康宏
- 副委員長 三上 周治
- 委員 山田 雅徳
- 委員 溝手 宣良
- 委員 三宅 啓介
- 委員 岡崎 亨一
- 委員 頓宮美津子